



# 八中だより



令和2年6月1日 6月号  
調布市立第八中学校  
校長 佐藤 政彦

HP: <http://www.chofu-schools.jp/chofu8/>

## 困難を乗り越えるために 学校・家庭が力を合わせて

校長 佐藤 政彦

待ちに待った学校が再開されます。休校中の3ヶ月間は、さぞ心配や苦勞の多い毎日だったと思います。学校では、生徒の皆さんと会えるこの日を、指折り数えて待っていました。今日から新たな出発です。勉強や学校生活、友達のことなど、心配なことはいくつもあるとは思いますが、これからの学校生活を送る中で、不安なことをひとつひとつ解消し、さわやかで気持ちのいい学校にしていきたいと思います。

保護者の皆様におかれましても、学校再開に当たっては、新型コロナウイルス感染予防対策、学習面の遅れの解消、学校生活への適応など、心配は尽きないことと思います。

予防対策・・・3密を避け、換気や手洗いうがいの励行、消毒の徹底等できる限りの対策を講じていきます。登校の際は、マスクの着用をお願いします。

学習面・・・学習の遅れを取り戻すために、年間行事予定を見直し、適正な授業時数に近づけるよう調整を行っています。すべての学習内容を指導します。決して、急ぎ足になることなく、確実に学習の定着を図っていきます。

生活面・・・友人関係や生活リズムなどについて、生徒一人一人の変化に敏感となり、早め早めに対応をします。特に学校生活へ不安を感じている生徒に対しては、担任だけでなく養護教諭、スクールカウンセラー、関係諸機関と連携し、心に迫る指導を推進します。

心配なことがありましたら、ぜひ、小さなことでも結構ですので、情報をお寄せいただき、学校・家庭が一丸となり、子供たちの日々の生活をサポートしていきたいと考えております。

### 「頑張るときはいつも今」—その2—

この言葉は学校だよりの第1号で紹介をした言葉です。入学式の式辞として考えていたのですが、実は、この言葉の最後に（仮）と付けて「頑張るときはいつも今（仮）」として、話の内容を考えていました。



なぜ、（仮）なのか。新入生の中には、きっと、小学校時代に学校へ行くことが辛くて、休みがちだった人がいたと思います。そして、気持ちを奮い立たせて、やっとの思いで中学校の入学式に出席したときに、校長から「いつも頑張れ」と言われたらどうでしょうか。励ましの言葉が、ただただプレッシャーに感じてしまう人もいるはずです。なので、今は頑張れなくても、“頑張ってみよう”と思えた時に、この言葉を実行できればいいと思います（仮）としたのです。頑張れないときには休むことも大切です。ひと休みして、次の一歩を踏み出せばいいのです。2・3年生も同様です。しかし、今日から（仮）が取れて実行できそうな人は、勉強にスポーツに、これからの学校生活を全力で頑張らしましょう。